

令和4年度 第2回 大阪府堺市保健医療協議会 議事概要

日時: 令和5年2月7日(火)午後2時から午後4時 20分

開催場所: 堺市役所 本館地下1階 大会議室

出席委員: 44名

(委員定数 50名、定足数 26名であるため有効に成立)

西川委員、中西委員、鈴木委員、粟田委員、池内委員、池田委員、井上委員、尹委員、大里委員、岡原委員、尾島委員、小田委員、片岡委員、釜江委員、亀井委員、亀山委員、河内委員、黒田委員、阪田委員、佐々木委員、佐野委員、高橋委員、田内委員、田端委員、津田委員、東田委員、中村委員、納谷委員、西尾委員、長谷川委員、藤井委員、堀委員、前川委員、前島委員、前原委員、待谷委員、松井委員、宮奥委員、森委員、山本(淳)委員、山本(甚)委員、横田委員、吉田委員、和田委員

■議題1 各部会からの報告について

資料に基づき、各部会長から部会の審議内容について報告

【資料1】令和4年度 大阪府堺市保健医療協議会 部会審議概要

(質問)

- 近大病院は南河内、泉州圏域の患者にも対応している。二次医療圏ごとで流入、流出はあるが、近大病院のように圏域をまたいで入ってくるのは全国初で、大阪府はどのように圏域の体制を考えているのか。
- 精神科は大阪府内で特に泉州に多く、流出・流入があるが、医療体制の検討をどのように考えているのか。

(大阪府の回答)

- 精神医療懇話会は、二次医療圏毎に実施しているが、病床整備は大阪府全体で体制の検討をしている。他の疾病については、基本的に二次医療圏毎に議論しているが、(近畿大学移転においても)患者の流出、流入も考慮し体制の構築に努めたい。

(意見等)

- 消防の広域化も進められ、隣接する医療圏との連携が多くなってきた。二次医療圏の考え方を、大阪府保健医療企画課だけでなく、大阪府関係部署全体で議論してほしい。
- 住み慣れた地域でという考え方では二次医療圏でいいと思うが、これからは二次医療圏を超えた活動、連携というものも考えていかなければいけない。

医療・病床部会で委員から質問のあったことに対して、大阪府保健医療企画課から下記のとおり回答

(医療・病床部会での委員からの質問)

○病床の規制について、特定機能を果たす病床であれば、例外的に有床診療所の開設や増床を許可して良いという特例がある。病床規制があるから1床も許可できないと一律で断るのではなく、特例があることについて説明するべきではないか。

(大阪府の回答)

○府においては、平成31年2月の大阪府医療審議会において、特例で病床を設けることができる診療所の基準を定めているが、へき地医療及び救急医療に該当する診療所は特例で病床を設置できるものにあたらぬとしている。各保健所においては、こうした状況を踏まえ、病床を設けたいとされるすべてのご相談に対し、特例有床診療所のご案内を行っているものではなく、状況に応じて対応させていただいている。

(意見等)

○救急医療が特例の対象外であることは理解に苦しむ。

かかりつけで来られている患者が急変を起こせば、当然診療所の先生や在宅診療をされている先生が診るということになる。そのような病床を救急病床と捉えるのか、あるいは在宅療養に必要な病床と捉えるのかは形式的なことであり、中身的には急変した患者を診るということである。

■議題2 令和4年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【資料2】令和4年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

(質問)

○地域医療構想のデータの見直しの説明があつたが、コロナ禍で減少した入院実績を実態として、地域医療構想の基準のデータとするのか。

(大阪府の回答)

○地域医療構想の推計データは実態と乖離が出てきているので、見直しの必要性は国に伝えているという趣旨。コロナ禍で減少した入院実績を基準として、病床の必要量を検討、見直することは考えていない。

■議題3 基準病床数の見直しの検討

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【資料3】令和4年度基準病床数の見直しの検討について

<協議結果>

・来年度も引き続き基準病床数の見直しを検討することとなった。

(意見等)

○特になし

■議題4 外来機能報告の報告期限の延長について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【参考資料7】厚労省 外来機能報告制度に関する説明会(令和4年12月)資料

(意見等)

○特になし

■議題5 令和4年度 堺市二次医療圏「地域医療構想」の進捗状況

■議題6 令和4年度 堺市二次医療圏における各病院の今後の方向性

資料に基づき、堺市健康福祉局健康部健康医療政策課から説明

【資料4】令和4年度堺市二次医療圏「地域医療構想」の進捗状況

【資料5】令和4年度病院プラン医療機関別一覧(堺市二次医療圏)

【資料6-1】令和4年度堺市病院連絡会結果(概要)

(田中会田中病院の説明)

【資料6-2】田中会田中病院の病床運用について

急性期医療機関から療養目的を含めた入院依頼が多く占めている状況であることから回復期(地域一般入院料3)フロア全てを慢性期(療養病棟入院料1)へ転換を検討している。転換後も引き続き、急性期病院からの患者の受入れを継続していく。

<協議結果>

- ・田中会田中病院の慢性期への転換計画となる病院プランについては、本協議会として合意となった。
- ・その他の病院の病院プランについては、合意となった。

(意見等)

○特になし

■議題7 「傷病者の搬送及び受入れの実施基準<堺市圏域版>」医療機関リストの更新について

資料に基づき、堺市健康福祉局健康部健康医療政策課から説明

【資料8】傷病者の搬送及び受入れの実施基準<堺市圏域版>医療機関リスト

<協議結果>

- ・事務局から提案のあった医療機関リストの更新について、承認された。

(意見等)

○特になし

■議題8 令和4年度 在宅医療にかかる取組と今後のあり方について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【資料 11】令和4年度 在宅医療にかかる取組と今後のあり方

(意見等)

○特になし

■議題9 地域医療への協力に関する意向書の提出状況

資料に基づき、堺市健康福祉局健康部健康医療政策課から説明

【資料 12】地域医療への協力に関する意向書提出状況

(堺市二次医療圏 診療所新規開設者)

【資料 13】地域医療への協力に関する意向書提出状況

(堺市二次医療圏 医療機器新規購入・更新者)

(意見等)

○特になし

■議題 10 第7次大阪府医療計画における取組状況の評価について

資料に基づき、堺市健康福祉局健康部健康医療政策課から説明

【資料 14】第7次大阪府医療計画 PDCA 進捗管理 堺市二次医療圏

(質問)

○2024 年に第8次医療計画と第9期介護事業計画の改定が同時にあり、国も 2040 年を見据えて地域包括ケアを進化・推進させるためには、地域完結型の医療・介護提供体制の構築が必要ということで、この2つの計画の整合性を持ちながら計画を立てることとしているが、あまり整合性がとられているようには感じない。今度どのような形で整合性をとっていくかを聞きたい。

(大阪府の回答)

○1つは、介護保険事業計画でのサービス量の見込みと、それ以外を在宅医療で見込むという数字、サービス量の整合性である。また、国から取組についての方向性が示され次第、大阪府の中でも福祉部と検討をしていくところであるが、次年度の在宅医療部会等でも検討していきたいと考えている。

(堺市の回答)

○国の動向も見ながらの調整となるが、堺市は、堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を作成している。堺市では、この介護保険事業計画の行政区域と二次医療圏が同じであるので、大阪府の医療計画の策定に当たっては、堺市の中で介護事業計画を検討される堺市社会福祉審議会の事務局等で、保健医療協議会の事務局を担っている堺市健康医療政策課も参画しながら整合性の調整を図っていきたいと考えている。

■議題 11 その他

資料に基づき、堺市健康福祉局健康部健康医療政策課から説明

【資料 15】堺市二次医療圏における病院群との連絡調整の場の創設(案)

(意見等)

○個々の病院の努力では限界があるので、地域の中の病院で役割分担をすれば、病床の機能分化も充実するのではないか。